

伊東忠太 いとう ちゅうた 建築家、建築史學者、工學博士。慶應二年十月、二十  
 六日出羽國米澤生れ、昭和二十九年四月七日歿（六七一―九歳）。號紅  
 雲。明治二十五年帝國大學工科大学造家科卒。神社佛閣建築の權威者、  
 その代表作は平安神宮、築地本願寺等がある。また木彫術でもうたは日  
 本建築史を研究してその基礎を築いた。一方支那、インドの古建築調  
 査の當り、雲崗石窟を發見して世界に紹介するほど、業績多大。明治  
 二十八年東京帝大教授、昭和二年早稲田大學教授。帝國學士院會員、  
 十八年文化勳章受章。餘技は諷刺漫畫を能くした。

著書、『滿洲の文化と遺跡の史的考察』（昭和八年十月）『啓明會專  
 務所「講演集」』、『建築の現れたる日本精神』（昭和十一年二月十  
 四日啓明會專務所「講演集」）、『新獨逸文化と日本』（昭和十二年  
 十一月）『二十五日啓明會專務所「講演集」』、『道教思想と支那建築藝  
 術』（昭和十五年六月）『二十五日啓明會專務所「講演集」』、『法隆寺』  
 （昭和十五年十一月十五日創元社「創元選書」）、『建築より見たる  
 日本國民性』（昭和十六年十月五日海峽書店「新國民文化叢書」）、  
 『琉球―建築文化』（昭和十七年十一月七日東京峰書房）、『日本建築  
 の美―社寺建築を中心として』（昭和十九年六月）『二十日生活研究會叢  
 版、主婦之友社』、『日本建築の實  
 相』（昭和十九年九月）『二十日新太陽  
 社』、『曲遊の萬座』（昭和二十一  
 年十一月十五日九光書房）等。岸田  
 日出乃著『建築學』伊東忠太『（昭和）一  
 十年と八月）二十日乾元社』がある。

